

中学地理プリント（過去問類似）

世界の姿と緯度経度

名前

得点

/9

問1 東京を中心点とした正距方位図法で地球全体を描いた際、地図の最も外側の線（円周）に集約されている地点は、どのような場所か。その性質を説明したものを選びなさい。（2017年 静岡公立入試 類似）

1. 東京から見て地球のちょうど真裏側に位置する対蹠点（たいせつてん）にあたる地点。
2. 東京から見て最短距離で到達できる赤道上のすべての地点。
3. 東京と同じ緯度にある地点を結んだ、地球を一蹴する緯線のライン。
4. 東京を通る経線を北極点と南極点を經由して一周させた際に、最も遠くなる地点。

問2 地形図上で、等高線が標高の高い方に向かって食い込んでいる場所を直線が通過しているとき、その区間の起伏の変化を断面図で表すとどのようになりますか。（2026年 静岡公立入試 類似）

1. 周囲よりも標高が低くなる「谷」として描かれる
2. 周囲よりも標高が高くなる「尾根」として描かれる
3. 傾斜の変化がない「緩斜面」として描かれる
4. 急激に標高が上がる「崖」として描かれる

問3 世界地図において、ヨーロッパからアフリカ大陸を南北に貫き、地球を東経と西経の領域に分ける基準となっている線について、その特徴を説明したものととして正しいものはどれですか。（2023年 富山公立入試 類似）

1. イギリスを通る経度0度の線であり、世界各地の時差を算出する際の基準となる。
2. 地球を北半球と南半球に分ける緯度0度の線であり、太陽エネルギーを最も強く受ける。
3. 太平洋を南北に通る経度180度付近の線であり、その線を越える際に日付を調整する。
4. 日本の標準時を定める基準となっており、兵庫県明石市を通る東経135度の線である。

問4 ヨーロッパからユーラシア大陸南部、東南アジアにかけて東西に延び、アルプス山脈やヒマラヤ山脈などを含む大規模な造山帯の名称を、次の語句から選びなさい。（2017年 徳島公立入試 類似）

1. アルプス・ヒマラヤ造山帯
2. 環太平洋造山帯
3. 安定陸塊
4. 古期造山帯

問5 世界各地の農業生産において、キャッサバの主要な生産国であるタイやインドネシア、アフリカ諸国や南アメリカ大陸を通り、熱帯気候の指標ともなる緯度0度の線の名称として適切なものを選びなさい。（2021年 長野県公立入試 類似）

1. 赤道
2. 本初子午線
3. 北極線
4. 日付変更線

問6 地形図において、マツやスギ、ヒノキなどのように葉が細長く、寒さに強い樹木が密集している場所は、逆V字型（Λ）のような記号で示されます。この地図記号が表す森林の名称として正しいものはどれですか。（2019年 静岡公立入試 類似）

1. 針葉樹林
2. 広葉樹林
3. 果樹園
4. 竹林

問7 地形図において、地図作成の基準とするために国土地理院が設置した地点のうち、位置（緯度・経度）と標高が正確に測定され、地図上では三角形の中央に点がある記号で示されるものを何というか。（2019年 愛知公立入試 類似）

1. 三角点
2. 水準点
3. 標高点
4. 電子基準点

問8 日本の東京都中央卸売市場における輸入果実の取扱統計において、アメリカ合衆国産のかんきつ類は2月から6月にかけて入荷のピークを迎えるのに対し、オーストラリア産は6月から10月にかけて入荷が増える傾向にあります。このように、両国の出荷時期が重ならず補完し合っている理由として最も適切なものはどれですか。（2023年 岡山公立入試 類似）

1. 地球の地軸が傾いた状態で公転しているため、北半球と南半球では季節が逆になり、農作物の収穫時期が異なるから。
2. アメリカ合衆国とオーストラリアでは輸送距離に大きな差があるため、日本に到着するまでの時間に数か月のずれが生じるから。
3. オーストラリアでは高度な栽培技術が普及しており、北半球の需要に合わせて意図的に収穫時期を遅らせているから。
4. 赤道を挟んで南北で時差が最大になるため、出荷作業を行う時間帯が数か月単位でずれて管理されているから。

問9 中心からの距離と方位が正しく示された地図（正距方位図法）の特性について述べた説明として、最も適切なものはどれか。

（2024年 群馬公立入試 類似）

1. 図の中心から引いた直線は最短コースを示すため、航空路を確認するのに適している。
2. 図上のどの2点間を直線で結んでも、それが常に最短距離となる性質を持っている。
3. 経線と緯線が常に直交して描かれており、羅針盤を用いた航海に適している。
4. 球体である地球の表面積を正しく表現しているため、人口分布などの統計地図に適している。

答え合わせ・解説

- 問1** **答え 1**
東京から見て地球のちょうど真裏側に位置する対蹠点（たいせつてん）にあたる地点。
- 正距方位図法では、中心からの距離が同心円状に正しく描かれます。地球上で特定の地点から最も遠い場所は、地球の真裏側にある「対蹠点」であり、その距離は約2万キロメートルです。この図法で地球全体を表現すると、中心から最も遠い一点であるはずの対蹠点が、地図の外周である円全体として引き延ばされて描かれることとなります。
- 問2** **答え 1**
周囲よりも標高が低くなる「谷」として描かれる
- 等高線が標高の高い方へ曲がっている部分は、水が流れる「谷」を指します。断面図を作成する際、このような地点を通過する線は周囲に比べて標高が低くなるため、グラフ上では凹んだ形として表現されます。逆に、等高線が標高の低い方へ張り出している場合は「尾根」となり、断面図では盛り上がった形となります。
- 問3** **答え 1**
イギリスを通る経度0度の線であり、世界各地の時差を算出する際の基準となる。
- 本初子午線は経度の起点であるため、世界各国の標準時を決める際の根拠となります。例えば、この線（経度0度）から東へ15度進むごとに時間は1時間早くなります。アフリカ大陸を中央に配置した地図などでは、ロンドン付近から大陸の西側を通り、南極へと伸びる直線として描かれます。他の選択肢は、それぞれ赤道、日付変更線、日本の標準時子午線に関する説明です。
- 問4** **答え 1**
アルプス・ヒマラヤ造山帯
- ユーラシア大陸を横断するように広がるこの造山帯は、アフリカプレートやインドオーストラリアプレートがユーラシアプレートに衝突することで形成されました。この過程でヒマラヤ山脈のような高く険しい山々が作られました。
- 問5** **答え 1**
赤道
- キャッサバは熱帯地域で広く栽培される作物であり、その主な生産地域は緯度0度の線である赤道の周辺に集中しています。東南アジアのインドネシアや、アフリカ大陸中部、南アメリカのアマゾン川流域などは、この赤道付近に位置することで年間を通して気温が高く、独特の農業景観が形成されています。
- 問6** **答え 1**
針葉樹林
- マツやスギ、ヒノキなどは「針葉樹」に分類されます。地形図では、これらの樹木が密集している場所をアルファベットの「V」を逆にしたような「Λ」の形で表現します。これは針葉樹の鋭い葉の形や、樹木全体のシルエットを簡略化したものです。対照的に、カシヤケヤキなどの葉が平たく広い樹木が密集する場所は、円のような形をした広葉樹林の記号で表されます。
- 問7** **答え 1**
三角点
- 地図作成の際の位置や高さの基準となる地点です。山頂などの見通しの良い場所に設置されることが多く、正確な緯度・経度と標高が測定されています。似た記号に「水準点」がありますが、こちらは主に道路沿いに設置され、高さ（標高）の精密な測定に用いられる基準点です。
- 問8** **答え 1**
地球の地軸が傾いた状態で公転しているため、北半球と南半球では季節が逆になり、農作物の収穫時期が異なるから。
- 地球は地軸を約23.4度傾けたまま太陽の周りを公転しているため、時期によって太陽光を強く受ける地域が変化し、北半球と南半球では季節が逆になります。北半球に位置するアメリカ合衆国と、南半球に位置するオーストラリアでは農作物の収穫時期が正反対になるため、日本ではこれらを組み合わせて輸入することで、一年を通じて安定した供給を受けることが可能になっています。
- 問9** **答え 1**
図の中心から引いた直線は最短コースを示すため、航空路を確認するのに適している。
- 正距方位図法は、その名の通り「中心からの距離」と「方位」のみが正しく表される。中心から目的の地まで引いた直線は最短距離（大圏航路）となるが、中心を通らない2点間の直線は最短距離にはならない。また、周辺部にいくほど大陸の形が著しく歪むという特徴がある。経緯線が直交するのはメルカトル図法、面積が正しいのはモルワイデ図法などの特徴である。